

中心市街地に必要なこと 一緒に考えませんか



市は、これからの人口減少社会を迎えるにあたって、持続可能なコンパクトなまちづくりを進めています。中でも重要な役割を担う中心市街地で、中心市街地活性化基本計画に基づき、活性化に取り組んでいます。

ラルズ跡地の活用やポルタビル再生などの事業により、成果を上げてきましたが、基本計画で定めた目標を達成できていません。人口減少社会が加速するなか、中心市街地の活性化は、今後も引き続き取り組む必要があることから、2期計画の作成を進めています。今月は、計画の骨子案をお知らせします。計画の素案作成に向けて、活発なご意見やご提案をお願いいたします。

問合せ先 市中心市街地活性化推進室 ☎31局0101

ご意見をお寄せください

骨子案に対するご意見やご提案のほか、中心市街地活性化に対するご意見やご提案も随時お受けしていますので、ぜひ皆様のお考えをお寄せください。

提出先 ☎068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地
 であえーる岩見沢5階
 岩見沢市経済部中心市街地活性化推進室
 ☎24局2000 ✉chukatu@i-hamanasu.jp

中心市街地活性化基本計画

3つの基本方針に数値目標を定め、平成20年から計画を推進してきました

◆住みたいと思う暮らし環境づくり
 まちなか住まいを促進

↓ 居住者人口の増加へ

《主な事業》

- 岩見沢駅北地区土地区画整理事業
- 4・3地区再開発事業
- 中心商店街除排雪事業 ほか

◆ふれあいと交流のある賑わいづくり
 まちなか回遊を促進

↓ 歩行者通行量の増加へ

《主な事業》

- ラルス跡地活用事業
- ポルタビル再生事業
- まちなかアート展開事業 ほか

◆地域産業の活力を生み出す環境づくり
 まちなか雇用を促進 ↓ 従業者数の増加へ

《主な事業》

- 地域経済活性化による雇用創出事業
- 商店街コンバージョン事業
- ITビジネスセンター整備・運用事業 ほか

これらの様々な事業を進め、ラルズ跡地活用事業や商店街コンバージョン事業など、計画を上回る実績となった事業がありました。

しかし、計画のスタート直後に、中心市街地の核施設であった西友岩見沢店が撤退したことや、豪雪の影響から古い店舗の解体が進むなどのマイナスの要因も多く、回復傾向にはあるものの、目標の達成には至っていません。

目標を達成できなかった要因

◆居住者人口 目標5千人 ↓ 現状4千703人

《主な要因》

- 駅北土地区画整理事業の土地利用が進んでいない
- 多くの民間共同住宅が供給されたが、一部で計画の変更や遅れがあった
- ファミリー層が少ないため、人口の自然減が多く、人口の増加につながらなかった

- 区域外に比べて、転出超過が多かった
- 歩行者通行量 目標5千700人 ↓ 現状3千957人

《主な要因》

- 唯一の大規模小売店舗であった西友が撤退したことで買い物客が減少した
- 居住者人口が目標値に達しなかったため、人口増による歩行者の増加が少なかった
- 有明連絡歩道が、商店街への回遊につながっていない
- 2年続きの豪雪にともなう建物の解体などによって空き地が増加し、まちなかの魅力が低下している

◆従業者数 目標8千900人 ↓ 現状8千105人

《主な要因》

- 雇用の拡大に取り組んだが、中心市街地での就職が少なかった
- 大規模事業所の郊外移転や撤退が影響した
- 地域経済の低迷で、新規雇用を控える企業が多かった

これらの要因を踏まえて、2期計画の骨子案を作成しました

中心市街地活性化基本計画 2期計画骨子案の概要

2期計画は、市と商店街、民間事業者、まちづくり団体の皆さんが一体となって取り組むために、共通の目標となるコンセプトを定め、1期計画で定めた基本方針を軸に、官民が協力して事業を進めます。

計画期間

平成26年4月から平成31年3月

コンセプト

空知の中心都市にふさわしい都市機能の充実

都市個性や広域的 位置づけをいかに

- ▶ 鉄道を中心とした交通の要衝、物流拠点の地として物資、文化、情報、人が集まってきた歴史をいかに
- ▶ 商業、文化、行政、医療、福祉などの都市機能が集積する空知の中心都市としての位置づけをいかに

都市活動を活発化し、 魅力的な場を形成する

地域が連携して進める体制を構築し、買い物や飲食での訪問、市民活動や交流の場および働く場として都市活動を活発化させ、居住空間としても魅力的な場を形成する

詳細は市ホームページのほか、市中心市街地活性化推進室、情報公開コーナー、有明交流プラザ、栗沢・北村の各支所で閲覧できます

基本方針と目標

基本方針	活性化の目標	目標指標	基準値 (平成24年)	目標値 (平成30年)
住みたいと思う暮らし環境づくり	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	中心市街地居住者人口	4,703人	5,000人
ふれあいと交流のある賑わいづくり	岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進	中心市街地歩行者・自転車通行量(平日)	5,757人	6,000人
地域産業の活力を生み出す環境づくり	地域を元気にする産業の創出によるまちなか雇用の促進	中心市街地従業者数	8,105人	8,150人